



業務提携及び第三者割当増資の実施に関するお知らせ

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：池田全徳、以下「日本触媒」）と株式会社糖鎖工学研究所（本社：京都市下京区、代表取締役社長：朝井洋明、以下「糖鎖工学研究所」）は、両社共同で「糖鎖修飾ソマトスタチンアナログ」（以下「G-SRIF」）の共同開発を実施することで合意し、日本触媒は本合意に基づき、2015年10月8日の経営会議において、ペプチド原薬合成研究施設への設備投資を決議いたしました。

あわせて、日本触媒は2015年9月30日開催の取締役会において、糖鎖工学研究所は2015年10月13日の取締役会において、糖鎖工学研究所が実施する第三者割当増資を日本触媒が引き受けることを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本提携の目的

日本触媒は2014年度にスタートさせた長期経営計画「新生日本触媒 2020」に基づき、既存事業・コア製品の一層の強化と併せて、健康・医療事業を始めとする新規事業の早期立ち上げ・新製品の速やかな上市を目指した取り組みを行っております。

その中で健康・医療事業に関しましては、市場の拡大が見込まれるペプチド医薬、DDS分野に着目し、当該分野における次世代医薬品シーズの研究開発、臨床開発から製造受託に至る、一貫したサービスを提供する創薬支援事業の確立を目指しております。

糖鎖工学研究所は、ヒト型糖鎖製造、糖鎖改変及び糖鎖修飾に関する独自のプラットフォーム技術とそれらに関する分析技術を有しており、革新的なバイオ医薬品の創薬支援事業及び、低価格・高品質のバイオ医薬品の原薬提供を目指しております。

糖鎖工学研究所のパイプライン事業では、既に創生した医薬品開発候補の中にG-SRIFがあり、保有する他の医薬品開発候補シーズより先行して安全性確認を進めており、導出を目指した独自の臨床開発の準備をして参りました。

この度日本触媒と糖鎖工学研究所は、互いのリソースを相互活用することにより、両社のペプチド医薬ビジネスの加速が見込めるものと判断いたしました。両社は本提携（図1参照）により、健康・医療分野において、G-SRIFを始めとする新たな価値を提供し、社会に貢献することを目指します。

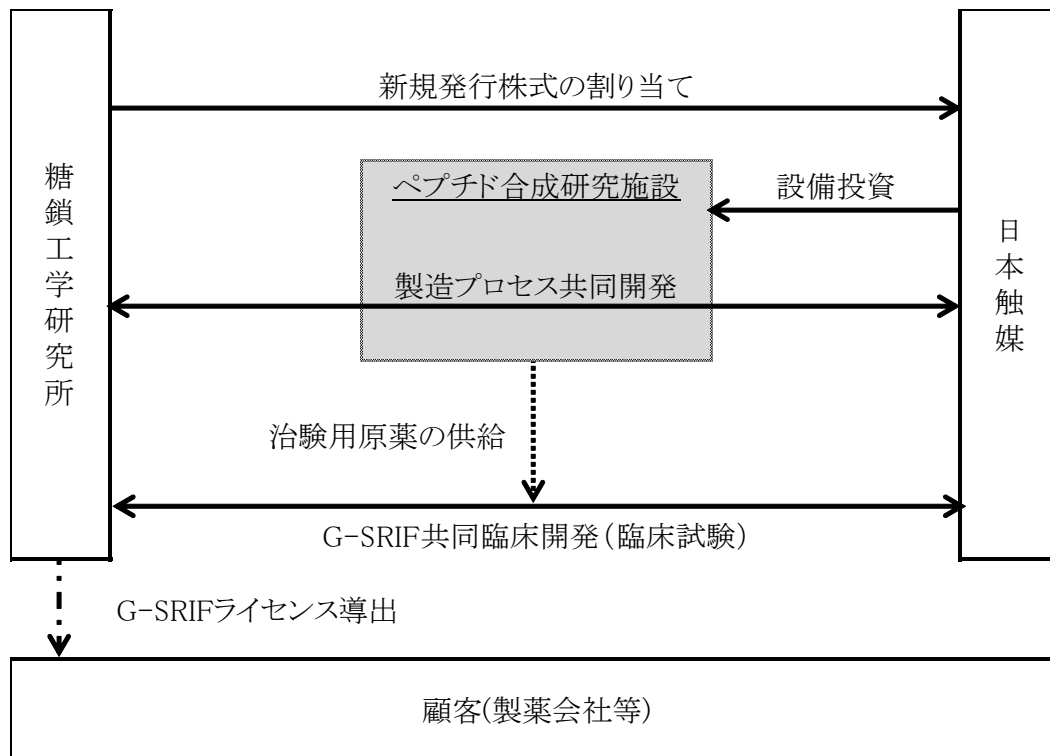


図 1：日本触媒と糖鎖工学研究所の提携模式図

2. 本提携の内容

(1) 業務提携の内容

G-SRIF は、ヒト生体内に存在するソマトスタチンにヒト型糖鎖を付加させた、新規ソマトスタチン誘導体です（図 2 参照）。ソマトスタチンは、生体内で成長因子の産生抑制を行います。アミノ酸改変され 2 型受容体に特異性の高い第一世代のソマトスタチンアナログ（一般名； Octreotide、商品名； sandostatine）は、年間売上高 1,500 億円以上のブロックバスター薬になっています。一方、ソマトスタチンの受容体は 5 種類あることがわかっていますが、これまで、5 種の受容体全てと親和性を保持した医薬品はありませんでした。G-SRIF は、この全ての受容体との親和性を維持し、更に生体内動態も飛躍的に改善された次世代のソマトスタチンアナログです。また、5 種の受容体の機能は未だ全容は解明されておらず、G-SRIF のようなマルチ親和性を有するソマトスタチンアナログは、新たな効能が期待されています。この度、糖鎖工学研究所と日本触媒は、第一のステップとして先端巨大症を対象とした G-SRIF の共同臨床開発を行うこととなりました。

日本触媒は、治験用 G-SRIF を生産するために、ペプチド合成研究施設を新設することを決定いたしました。両社は G-SRIF のスケールアップ製造プロセスを共同で開発いたします。また、両社は G-SRIF 臨床開発の加速を目指し、G-SRIF の前臨床試験及び先端巨大症を対象とした第 1 相臨床試験を共同で実施いたします。2016 年 4 月には治験申請を実施する予定です。

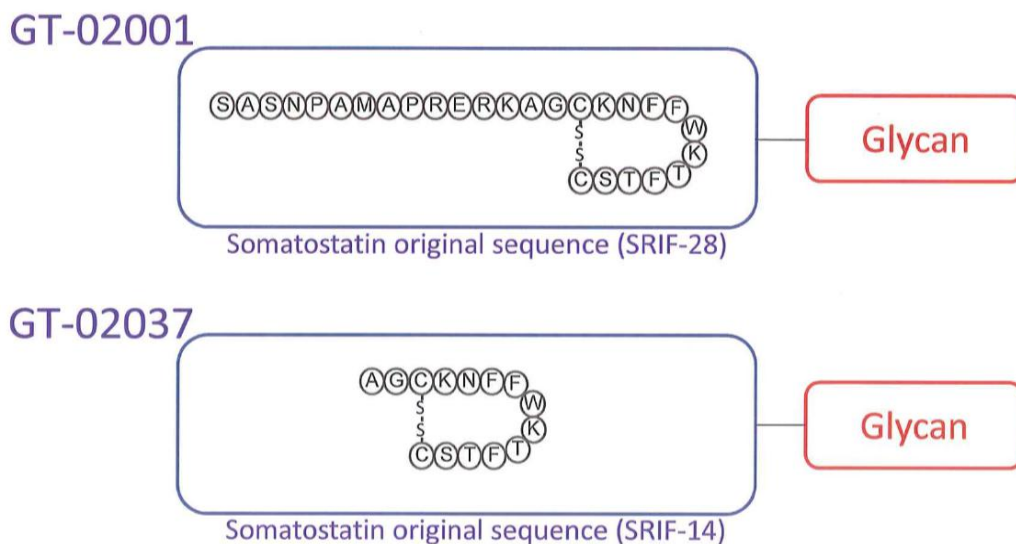


図2：G-SRIF イメージ図（Glycan；ヒト型糖鎖）

ペプチド合成研究施設の概要

①投資金額	300 百万円（概算）
②設置場所	日本触媒 吹田地区研究所内
③対応法令等	原薬 GMP 対応（日米欧三極）
④着工時期	2016 年 1 月
⑤完工時期	2016 年 9 月

(2) 第三者割当増資の概要

日本触媒は、両社の関係強化と共同開発の推進のために、糖鎖工学研究所が第三者割当増資により新たに発行する普通株式 400,000 株を以下の通り引き受けます。これにより、日本触媒は糖鎖工学研究所の増資後の発行済株式総数の 9.59%を取得する予定であります。

①日本触媒による引受け株式の種類及び数	普通株式 400,000 株
②引受け後の持分比率	9.59%
③払込期日	2015 年 10 月 23 日

3. 当事会社の概要

(1) 日本触媒

①名称	株式会社日本触媒
②所在地	大阪府中央区高麗橋 4-1-1 興銀ビル
③代表者名	代表取締役社長 池田 全徳
④主たる事業	石油化学製品等の研究開発、製造、販売
⑤資本金	25,038 百万円
⑥設立年月日	1941 年 8 月 21 日
⑦発行済株式総数	204,000,000 株
⑧決算期	3 月期
⑨従業員数	4,075 名（連結） 2,141 名（単独） （2015 年 3 月末現在）
⑩ウェブサイト	http://www.shokubai.co.jp/ja/

(2) 糖鎖工学研究所

①名称	株式会社糖鎖工学研究所
②所在地	京都市下京区中堂寺南町 134 京都リサーチパーク 1 号館
③代表者名	代表取締役社長 朝井 洋明
④主たる事業	糖鎖製造、糖鎖修飾、糖ペプチド、糖タンパク等に関する受委託研究及び共同研究、原薬製造販売、ライセンス事業
⑤資本金	483 百万円 (増資前)
⑥設立年月日	2012 年 4 月 2 日
⑦発行済株式総数	3,731,910 株
⑧決算期	12 月期
⑨従業員数	21 名 (2015 年 8 月末現在)
⑩ウェブサイト	http://www.glytech.jp/jp/

(3) 当事会社間の関係

①資本関係	ありません。
②人的関係	ありません。
③取引等の関係	ありません。

4. 今後の見通し

日本触媒と糖鎖工学研究所は、「バイオ医薬分野におけるものづくり日本の実現」という将来像を共有し、今後、本提携の推進に注力してまいります。

以上

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 経営企画室 I R・広報部

Tel:03-3506-7605 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2

株式会社糖鎖工学研究所

Tel:075-315-9218 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町 134
京都リサーチパーク 1 号館 109 号室